

はじめに

小学生から中学生、そして高校生へ、子どもたちは心身の成長とともに思春期を徐々に脱しながら、心理的・社会的な自立をとげて大人の仲間入りを目指していきます。

この時期、学校の「学びの環境」も大きく変化し、部活動や委員会活動、さまざまな社会活動への参加の機会も増え、多様な人間関係が広がっていきます。

しかし、時にはこうした変化に馴染めずに「不安」を感じることもあります。

なかには、その「不安」を周りの人に上手く伝えることができず、ひとりで抱え込んでしまった結果、不登校やひきこもり状態に陥ってしまうケースも少なくありません。

この支援ガイドは、「不安」を抱えた若者が、周りの人の支援を受けながらどのように一歩前に進んでいったか、本人や保護者の体験談をまとめたものです。

今、苦しんでいるあなたにとって、自分に合った「学びの環境」を考える一助となりましたら幸いです。

<支援者からのメッセージ>

自分の思いと進路の選択がうまく合わない時に

立ち止まって考える時間が必要になることがあります。

これから何をしたいのか、どんな勉強をしていきたいのか。

心の不安に駆られながら、ひとりで答えを見つけ出すのは大変なことです。

でもきっと寄り添って背中を押してくれる人はいるはずですよ。

進学先でまたは相談した先で、そんな先生や大人と出会ってください。

進む道は人それぞれ

進学する



働く



資格を取る



etc.

高校卒業

試験合格

全日制課程

定時制課程

通信制課程

高卒認定試験

中学卒業後の進路選択

毎日学校に通える自信がない



大学に行きたいけど、どの課程を選べばいいかな？



中学校を休みがちで高校入試が心配

高校に行けないと大学進学をあきらめないといけないの？



















休みが続いて進級できない高校を卒業したいけど、どうしたらいいかな？



高校を休みがち、授業に出られない

高校中退後の進路選択

も く じ

1	対談 不登校生が抱える不安感と、その対応	1
2	全日制課程（全日制高校）で学ぶ	3
	事例1 高校進学は自分にとっての「リスタート」。	
	事例2 思っていることを少しずつ話せるようになりました。	
	事例3 不安が募り教室へ行けなかった私の支えは、保健室の先生でした。 知っていますか？スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー	
3	定時制課程（定時制・フレックス高校）で学ぶ	7
	事例4 19歳で高校進学。友人との出会い、夢…新しい人生が始まりました。	
	事例5 全日制高校を1年夏に中途退学。秋入学でもう一度野球を始めました。	
	事例6 大好きなバスケットボールと多くの人に支えられた学校生活。	
	事例7 マイペースに、前向きな学校生活を送れました。	
	事例8 前籍校の修得単位を持ってフレックススクールへ編入学しました。	
	事例9 夢は、母国に戻って建設会社を作ること。	
4	通信制課程（通信制高校）で学ぶ	12
	事例10 自分のペースで学べる、通信制高校を選択して良かった。	
	事例11 修得単位を活かして通信制高校に編入学、「高卒」を目指しています。 群馬県私立通信制高校等連絡協議会からのメッセージ	
	事例12 全日制高校から転学。周りの人に支えられ、大学に進学しました。	
	事例13 児童養護施設で生活、不登校、転学・卒業後に就職しました。	
	事例14 親身に寄り添ってくれた先生方とともに、自立を目指して。	
5	高等学校卒業程度認定試験合格を目指して学ぶ	17
	事例15 高卒認定試験をきっかけに自分を取り戻した息子が、社会人に。	
	事例16 不登校の娘。休学、退学を経て高卒認定試験に合格。 地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業	
6	資料	20